

お元気ですか

つかじさちの

第730号

日本共産党高知県議会活動報告ニュース

2014年 7月13日発行

電話 088-823-9524 (議会控室)

088-843-9281 (自宅)

フレッシュ便



「集団的自衛権行使は憲法上許されない」とする政府見解は、ある日突然表明したものではなく、半世紀を超す国会論戦の積み重ねで定着、確立したものだ。それを、

意見書に賛成

塚地佐智氏(共産)

閣議決定は、「戦闘地域」とされた場所でも支援活動ができる、とした。政府は「後方支援」とするが、攻撃されれば応戦し、武力行使することになる。憲法9条を持つ日本人の支援は、武力行使をしないと国際的に認められているからこそ、人道、復興支援に大

多数の批判に耳を傾けることもなく、与党だけの密室協議で閣議決定によって覆すのは憲法破壊のクーデターと呼べる暴挙だ。

きく貢献できている。(閣議決定は)「国際社会の平和と安定」への貢献をかねて困難なものにする。政府は行使の範囲を「限定的」とするが、国民を欺く言葉のあやだ。判断するのは時の政権で、恣意(しい)的な解釈がされる危険性があり、歯止めにならない。いったん海外で武力行使に踏み切れば、反撃され、際限のない戦争の泥沼になることは歴史が証明している。集団的自衛権は、その持つ本質から「必要最小限度」ということはあり得ない。

「最小限度」あり得ぬ

「集団的自衛権行使容認に反対する」意見書案、自民・公明などの反対で否決

この6月衆議院に、私たち国民クラブの共同提案で、「集団的自衛権行使容認に反対する」意見書案を提出しました。7月1日に強行された、行

使容認の「閣議決定」の内容をふまえ、7月4日の本会議で、意見書案に対して賛成の立場で私が討論に立ちました。左記の文章は、私の討論の要旨と高知新聞が掲載して下さったもの

自民党と公明党が反対討論に立ち、採決の結果、自民・公明の他、フリーマース居氏、横山浩一氏が反対し、賛成少数で否決されてしまいました。怒り心頭です。

なるがも日記

No. 728



7月4日

県議会が閉会

「父の日」には義父

のところへ行っ

て、義家の父の顔

をしばらく見てな

かったので、ど

ろと泣いてき

ました

先の四下市議選で

初当選した友人の谷

田道多さんとも合

流して、ご挨拶の

父の笑顔と喝声

を堪能できてき

ました。父は91才

2014ピースウェーブinうち
平和の火トウ流し

7月30日(水) 18時～
金鏡川河畔(みどりの広場)

平和への祈りを火トウにたくして……
手づくりの火トウを流します。
新日本婦人の会高知市支部主催

参加費 200円